

科目ナンバー	LIN-3-021-e			科目名	英語教育のための文法と談話I				
教員名	小林 真記			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2		
概要	授業では、受講生に、何をどう教えるかを考え学んでもらうために、実際に様々な文法指導を学習者として経験してもらい、振り返りを行う。また、授業者として、使用場面や前後の文脈を考慮した文法事項の提示の仕方を考え、その際に行うやりとりに必要な英語表現も学んでいく。								
到達目標	本講義では、中学校・高等学校で英語教員を目指す学生のために、コミュニケーション能力育成を主眼に置いた授業実践に必要な英文法の知識とそれに必要な素地を養うことを目的とする。特に文法事項の形式と意味のみならず、使用にも焦点を当て、使用場面と機能を考慮した導入の仕方を学ぶ。加えて、授業運営に必要な基本的な英語表現の習得も目指す。								
「共愛12の力」との対応									
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力			
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		○	分析し、思考する力	○	
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		○	構想し、実行する力	○	
グローバル・マインド		主体性		○	関係を構築する力		実践的スキル		○
教授法及び課題のフィードバック方法		文法学習史(10%)、中間試験(20%)、内省文(15%)、発表(25%)、期末レポート(30%)							
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修			
受講条件 前提科目		TOEIC500以上 英語で行う様々なグループ活動に、積極的に取り込む意欲のある者。							
アセスメントポリシー及び評価方法		文法学習史(10%)、中間試験(20%)、内省文(15%)、発表(25%)、期末レポート(30%)							
教材		Murphy, R. (2015). English Grammar in use: A self-study reference and practice book for intermediate learners of English. Cambridge, England: Cambridge University Press. 田中武夫・田中知聡. (2014). 『英語教師のための文法指導デザイン』東京: 大修館							
参考図書		Hughes, G., & Moate, J. (2007). Practical classroom English. Oxford, England: Oxford University Press. Larsen-Freeman, D., & Celce-Murcia, M. (2016). The grammar book: Form, meaning, and use for English language teachers (3rd ed.). Boston, MA: Heinle Cengage Learning. 卯城祐司 (2014). 『英語で教える英文法: 場面で導入、活動で理解』東京: 研究者 加賀信広・大橋一人(編)(2017). 『授業力アップのための一歩進んだ英文法』東京: 開拓社							
内容・スケジュール									
1週目									
授業学修内容		コース概要、文法観. コミュニケーションを支える文法							
授業外学修内容		教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。				時間数	2		
2週目									
授業学修内容		文法の特徴、依頼の表現							
授業外学修内容		教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。				時間数	2		
3週目									
授業学修内容		使用場面と前後の文脈、現在形と現在進行形							
授業外学修内容		教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。				時間数	2		
4週目									
授業学修内容		類似の文法項目との比較、能動態と受動態							

授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	適切な例文、過去進行形		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	現在完了形		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	現在完了形と現在完了進行形		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	中間試験 過去完了		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	未来表現		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	will とbe going to		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	関係代名詞(1):主格who/that/whichの制限的用法		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	関係代名詞(2):目的格that/whichの制限的用法		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	4
13週目			
授業学修内容	学生による発表		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	4
14週目			
授業学修内容	学生による発表		
授業外学修内容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	まとめ:知識としての文法から技術としての文法へ		
授業外学修内容	前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		34	
その他に必要な自習時間		56	

Number	LIN-3-021-e	Subject	e l			
		Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2	
Name	小林 真記 (Kobayashi Masaki)					
Course outline	O	This course aims to help students wishing to become English language teachers develop their knowledge and understanding of English language grammar and discourse and to provide them with opportunities to experience a variety of communicative tasks and activities designed to promote				
		grammar learning. Moreover, the course seeks to help students understand the close relationships between grammar and its communicative context as well as grammar as a verb.				